

医薬品情報セミナー

責任者・コーディネーター	薬剤治療学講座 三部 篤 教授 情報薬科学講座 西谷 直之 准教授		
担当講座・学科(分野)	情報薬科学講座、臨床薬剤学講座、地域医療薬学講座		
対象学年	5	区分・時間数	講義 12時間
期間	通期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

医薬品情報セミナーは、薬物の適正使用に必要な情報の収集・加工・提供のための知識と技能の修得を目指す。この科目は、4学年までに学習した薬物治療や医薬品情報の知識をより深く理解するとともに、医薬品情報取り扱いの実践的能力を形成する。また、科学的根拠に基づく医療を実践する医療従事者として、最新の情報を得る必要性について理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

医薬品添付文書やインタビューフォームなどの医薬品情報と患者情報について理解し活用するための知識と技能を修得し、薬物治療の薬学的管理への基盤が形成される。また、グループワークを通して個々の責任を果たす意義を理解し、医療チームに参加できる態度が身に着く。

（ディプロマ・ポリシー：4,6）

・到達目標（SBO）

1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。
2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。
3. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。
4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。
5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。
6. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。
7. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。
8. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。
9. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）
10. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）
11. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。
12. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。
13. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）☆

・ 講義日程

(矢) 西 201 2-A 講義室、東 403 4-C 実習室、東 404 4-D 実習室

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
1	5/12	金	3	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	<p>医薬品情報総論と個人演習1（指定ケーススタディー）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。 2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。 3. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。 4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。 5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。 6. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 7. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 8. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。
1	5/19	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	<p>グループワーク1（指定ケース解説）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 2. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）
1	5/19	金	4	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	<p>個人演習2（指定ケーススタディー）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づ

						けと医薬品添付文書との違いについて説明できる。
1	5/26	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	グループワーク2（医薬品情報解析） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）
1	6/2	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	グループワーク3（ケース創作） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）
1	6/9	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	個人演習3（創作ケーススタディー）とグループワーク4（創作ケース解説） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）

						<p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）</p>
1	6/9	金	4	<p>情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授</p>	<p>グループワーク5（ケース解説）</p> <p>1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。</p> <p>2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）</p>
1	6/23	金	3	<p>情報薬科学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授</p>	<p>個人演習4（創作ケーススタディー）</p> <p>1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p>
3	1/19	金	3	<p>情報薬科学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授</p>	<p>医薬品情報総論と個人演習1（指定ケーススタディー）</p> <p>1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。</p> <p>2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。</p> <p>3. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。</p> <p>4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。</p> <p>5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。</p> <p>6. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の</p>

						<p>記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>7. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p> <p>8. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。</p>
3	2/2	金	3	<p>情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授</p>	<p>グループワーク 1（指定ケース解説）</p> <p>1. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）</p> <p>2. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>3. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）</p>
3	2/2	金	4	<p>情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授</p>	<p>個人演習 2（指定ケーススタディー）</p> <p>1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p>
3	2/9	金	3	<p>情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座</p>	<p>西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授</p>	<p>グループワーク 2（医薬品情報解析）</p> <p>1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。</p> <p>2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）</p>

3	2/16	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	グループワーク3（ケース創作） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）
3	2/23	金	3	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	個人演習3（創作ケーススタディー）とグループワーク4（創作ケース解説） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。（技能）（☆）
3	2/23	金	4	情報薬科学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学講座	西谷 直之 准教授 富田 隆 准教授 松浦 誠 准教授	グループワーク5（ケース解説） 1. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。 2. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能） 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明で

						きる。 5. チーム内で個人の責任を果たすことができる。(技能) (☆)
3	3/1	木	3	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	個人演習4 (創作ケーススタディー) 1. 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。

・教科書・参考書等(教:教科書 参:参考書 推:推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	病気がみえる vol.1 消化器 第5版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2013
参	病気がみえる vol.2 循環器 第4版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2017
参	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2014
参	病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2013
参	病気がみえる vol.5 血液 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2017
参	病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2009
参	病気がみえる vol.7 脳・神経 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2011
参	病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第2版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2014
参	病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2013
参	病気がみえる vol.10 産科 第3版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2013
参	薬がみえる vol.1 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2014
参	薬がみえる vol.2 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2015
参	薬がみえる vol.3 第1版	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	2016

・成績評価方法

個人演習の得点（40%）、共通試験1の得点（20%）、共通試験2の得点（20%）、グループ構成員の得点と成績向上率（20%）

・特記事項・その他

4 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報科関連科目を復習し事前学習とすること。予習すべき内容の詳細は、毎回の講義で指示する。30 分程度の時間を要する内容である。事前学習の内容は、講義内でグループ学習し、必要に応じて教員からのフィードバックも受ける。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（SONY, SVP11229EJB）	1	資料作成、講義

治療戦略概論

責任者・コーディネーター	情報薬科学講座 西谷 直之 准教授		
担当講座・学科(分野)	情報薬科学講座、薬剤治療学講座、地域医療薬学講座		
対象学年	5	区分・時間数	講義 13.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医師や歯科医師は根拠に基づく医療(Evidence-Based Medicine、EBM)を通じて診断・治療方針を決定する。これらを理解することは、調剤や服薬指導など薬剤師業務を遂行する上で重要であるとともに、チーム医療において医療従事者間の円滑な意思疎通に不可欠である。医療チーム構成員が、同じ情報を共有し、合意のもとに診療方針を立案・検討することにより、治療の質的向上や透明化が期待される。本講義では、代表的な疾患についての診断・治療方針を学ぶことで、薬学専門科目の知識と技能を実地臨床において活用できるようになることを目指す。

・教育成果（アウトカム）

重要疾患の標準療法を用いて薬学専門科目の知識を統合し、疾患ガイドラインを中心とした処方設計の基本概念を習得し、チーム医療の一翼を担う薬剤師となるための基盤を形成する。
(ディプロマ・ポリシー：2,5,6,7,8,9)

・到達目標（SBO）

- EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。
- メタアナリシスの概念を理解し、結果を説明できる。
- がん化学療法の代表的なレジメンを列挙できる。
- がん化学療法の副作用対策における代表的な処方例を列挙できる。
- がん疼痛の薬物療法における処方例を列挙できる。
- 高血圧治療の代表的な処方例を列挙できる。
- 糖尿病治療の代表的な処方例を列挙できる。
- 心房細動の代表的な処方例を列挙できる。
- 脳塞栓症の代表的な処方例を列挙できる。
- 処方設計の過程を概説できる。(☆)
- 処方医薬品の処方意図を説明できる。(☆)
- 適応外使用する医薬品を列挙できる。(☆)

・講義日程

(矢) 東 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/5	水	4	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	総論 診療ガイドライン 各論 (1) がん化学療法ガイドラインと代表的なレジメン 1. EBM の基本概念と実践のプロセスにつ

					<p>いて説明できる。</p> <p>2. メタアナリシスの概念を理解し、結果を説明できる。</p> <p>3. 代表的ながんのガイドラインを理解し、治療法および治療薬の選定の根拠を説明できる。</p> <p>4. がん化学療法の代表的なレジメンを列挙できる。</p>
4/11	火	4	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	<p>各論（2）がん化学療法ガイドラインと代表的なレジメン</p> <p>1. 代表的ながんのガイドラインを理解し、治療法および治療薬の選定の根拠を説明できる。</p> <p>2. がん化学療法の代表的なレジメンを列挙できる。</p>
4/13	木	4	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	<p>各論（3）がん化学療法の副作用対策</p> <p>1. がん化学療法の副作用対策における代表的な処方例を列挙できる。</p>
4/17	月	4	地域医療薬学講座	松浦 誠 准教授	<p>各論（4）医療用麻薬を用いた疼痛緩和の実践的処方</p> <p>1. がん疼痛の薬物療法における処方例を列挙できる。</p>
4/19	水	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授	<p>各論（5）生活習慣病の治療ガイドラインと代表的な処方-高血圧、糖尿病</p> <p>1. 高血圧、糖尿病のガイドラインを理解し、治療法および治療薬の選定を説明できる。</p>
4/24	月	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授	<p>各論（6）生活習慣病の治療ガイドラインと代表的な処方-心房細動と脳塞栓症</p> <p>1. 心房細動および脳塞栓症に関し、その病態および治療ガイドラインを理解し、治療法および治療薬の選定を説明できる。</p>
4/26	水	4	地域医療薬学講座	松浦 誠 准教授	<p>各論（7）処方設計と処方意図、適応外使用する医薬品</p> <p>1. 処方設計の過程を概説できる。（☆）</p> <p>2. 処方医薬品の処方意図を説明できる。（☆）</p> <p>3. 適応外使用する医薬品を列挙できる。（☆）</p>
4/27	木	1	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	まとめ
4/27	木	2	情報薬科学講座	西谷 直之 准教授	まとめ

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	乳癌診療ガイドライン1 治療編 2015年版	日本乳癌学会 編	金原出版株式会社	2015
参	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2016年版	日本乳癌学会 編	金原出版株式会社	2016
参	よくわかる肺がん 日本肺癌学会公認	中西 洋一 監修	西日本がん研究機構	2014
参	大腸癌治療ガイドライン 2014年版	大腸癌研究会 編	金原出版株式会社	2014
参	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版	日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン作成委員会 編	金原出版	2014
参	制吐薬適正使用ガイドライン 2015年版	日本癌治療学会 編	金原出版	2015

・成績評価方法

定期試験（100％）で評価する。

・特記事項・その他

4 学年までに学習した薬物治療関連科目を復習し事前学習とすること。事前学習すべき内容は、次回の講義で扱う疾患等であり、30 分程度の時間を要する。定期試験は、資料持ち込み可とする。試験の正解を公開し、実務実習前の自学習に利用できるようにする。授業出欠マークシートには自由記載欄があり、教員への質問や要望を伝えることができる。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（SONY, SVP11229EJB）	1	資料作成、講義

実務実習（病院）

責任者・コーディネーター	地域医療薬学講座 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬剤学講座、構造生物薬学講座、有機合成化学講座、天然物化学講座、衛生化学講座、機能生化学講座、細胞病態生物学講座、微生物薬品創薬学講座、生体防御学講座、分子細胞薬理学講座、創剤学講座、薬物代謝動態学講座、神経科学講座、分子生物薬学講座、臨床医化学講座、薬剤治療学講座、地域医療薬学講座		
対象学年	5	区分・時間数	実習 330 時間
期 間	通期		
単 位 数	10 単位		

・学習方針（講義概要等）

実際の現場で病院業務の体験を通じて病院薬剤師の役割を学ぶ。

実習ユニット

- (1) 病院調剤を実践する
- (2) 医薬品を動かす・確保する
- (3) 情報を正しく使う
- (4) ベッドサイドで学ぶ
- (5) 薬剤を造る・調べる
- (6) 医療人としての薬剤師

・教育成果（アウトカム）

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得し、6つの実習ユニットを体験することで、チーム医療に参画できる実践的能力の基礎が身につく。

（ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,5,6,8,9）

・到達目標（SBO）

1. 医療人としての倫理観と態度を身につける。
2. 薬剤師病棟業務を正確に実施できる。
3. 患者の気持ちに配慮した対応が適切にできる。
4. 多職種への情報提供が的確にできる。
5. 注射用医薬品の適切な保管・管理を実施できる。

病院実習

GIO：病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

（1）病院調剤を実践する

GIO：病院において調剤を通して患者に最善の医療を提供するために、調剤、医薬品の適正な使用ならびにリスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病院調剤業務の全体の流れ」、「計数・計量調剤」、「服薬指導」、「注射剤調剤」、「安全対策」の各項目の実習を行う。

(2) 医薬品を動かす・確保する

GIO：医薬品を正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために、医薬品の管理、供給、保存に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「医薬品の管理・供給・保存」、「特別な配慮を要する医薬品」、「医薬品の採用・使用中止」の各項目の実習を行う。

(3) 情報を正しく使う

GIO：医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬剤部門における医薬品情報管理 (DI) 業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病院での医薬品情報」、「情報の入手・評価・加工」、「情報提供」の各項目の実習を行う。

(4) ベッドサイドで学ぶ

GIO：入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「病棟業務の概説」、「医療チームへの参加」、「薬剤管理指導業務」、「処方支援への関与」の各項目の実習を行う。

(5) 薬剤を造る・調べる

GIO：患者個々の状況に応じた適切な剤形の医薬品を提供するため、院内製剤の必要性を認識し、院内製剤の調製ならびにそれらの試験に必要とされる基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「院内で調製する製剤」、「薬物モニタリング」、「中毒医療への貢献」の各項目の実習を行う。

(6) 医療人としての薬剤師

GIO：常に患者の存在を念頭におき、倫理観を持ち、かつ責任感のある薬剤師となるために、医療の担い手としてふさわしい態度を修得する。

SBO：

1. 患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)
2. 患者にとって薬に関する窓口である薬剤師の果たすべき役割を討議し、その重要性を感じとる。(態度)
3. 患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)
4. 生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する。(態度)
5. 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)
6. 職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)

・実習日程

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
実習日程は特記事項に記載					

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	今日の治療薬 2017 解説と便覧	浦部 晶夫 他編集	南江堂	2016
参	処方提案につなげる薬物療法 ハンドブック	寺町 ひとみ 編集	南江堂	2015
参	治療薬マニュアル 2017	北原 光夫 編集	医学書院	2016

参	下 調剤業務の基本[技能]～処方せん受付から調剤、鑑査までの病院・薬局の実務(新ビジュアル薬剤師実務シリーズ)	上村 直樹、平井 みどり 監修	羊土社	2013
---	---	--------------------	-----	------

・成績評価方法

実習施設での評価(50%)、レポート(実習日誌・週報)(15%)・実務実習成果発表会の評価(10%)、出欠、実務実習試験(25%)などから総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

予習としては、翌日実習するSBOをよく読んでおくこと。
復習としては、行った実習内容を簡単に日報等にまとめること。

実習日程

I期 平成29年5月8日(月)～7月23日(日)

II期 平成29年9月4日(月)～11月19日(日)

III期 平成30年1月9日(火)～3月26日(月)

進捗ネットワークツールを用い、週報に対してコメントを入力することを通じて、学生にフィードバックを行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	各実習施設備え付けの薬剤業務関連機器		
実習	各実習施設内の機器		

実務実習（薬局）

責任者・コーディネーター	地域医療薬学講座 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬剤学講座、構造生物薬学講座、有機合成化学講座、天然物化学講座、衛生化学講座、機能生化学講座、細胞病態生物学講座、微生物薬品創薬学講座、生体防御学講座、分子細胞薬理学講座、創剤学講座、薬物代謝動態学講座、神経科学講座、分子生物薬学講座、臨床医化学講座、薬剤治療学講座、地域医療薬学講座		
対象学年	5	区分・時間数	実習 330 時間
期 間	通期		
単 位 数	10 単位		

・学習方針（講義概要等）

実際の現場で薬局業務の体験を通じて地域での薬局薬剤師の役割を学ぶ。

実習ユニット

- (1) 薬局アイテムと管理
- (2) 情報のアクセスと活用
- (3) 薬局調剤を実践する
- (4) 薬局カウンターで学ぶ
- (5) 地域で活躍する薬剤師
- (6) 薬局業務を総合的に学ぶ

・教育成果（アウトカム）

薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得し、6つの実習ユニットを体験することで、地域医療に参画できる実践的能力の基礎が身につく。
(ディプロマ・ポリシー:1,2,3,4,5,6,8,9)

・到達目標（SBO）

1. 医療人としての身だしなみや言葉遣い、行動を身につける。
2. 調剤業務を正確に実施できる。
3. 来局者のニーズに配慮した対応が適切にできる。
4. 患者への情報提供が的確にできる。
5. 医薬品の適切な保管・管理を実施できる。

薬局実習

GIO：薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。

(1) 薬局アイテムと管理

GIO：薬局で取り扱うアイテム（品目）の医療、保健・衛生における役割を理解し、それらの管理と保存に関する基本的知識と技能を修得する。

SBO：「薬局アイテムの流れ」、「薬局製剤」、「薬局アイテムの管理と保存」、「特別な配慮を要

する医薬品」の各項目の実習を行う。

(2) 情報のアクセスと活用

GIO：医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「薬剤師の心構え」、「情報の入手と加工」、「情報の提供」の各項目の実習を行う。

(3) 薬局調剤を実践する

GIO：薬局調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「保険調剤業務の全体の流れ」、「処方せんの受付」、「処方せんの鑑査と疑義照会」、「計数・計量調剤」、「計数・計量調剤の鑑査」、「服薬指導の基礎」、「服薬指導入門実習」、「服薬指導実践実習」、「調剤録と処方せんの保管・管理」、「調剤報酬」、「安全対策」の各項目の実習を行う。

(4) 薬局カウンターで学ぶ

GIO：地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「患者・顧客との接遇」、「一般用医薬品・医療用具・健康食品」、「カウンター実習」の各項目の実習を行う。

(5) 地域で活躍する薬剤師

GIO：地域に密着した薬剤師として活躍できるようになるために、在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

SBO：「在宅医療」、「地域医療・地域福祉」、「災害時医療と薬剤師」、「地域保健」の各項目の実習を行う。

(6) 薬局業務を総合的に学ぶ

GIO：調剤、服薬指導、患者・顧客接遇などの薬局薬剤師の職務を総合的に実習する。

SBO：

1. 薬局業務を総合的に実践する。
2. 患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を感じとる。(態度)
3. 薬が病気の治癒、進行防止を通して、病気の予後とQOLの改善に貢献していることを感じとる。(態度)

・実習日程

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
実習日程は特記事項に記載					

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	今日の治療薬 2017 解説と便覧	浦部 晶夫 他編集	南江堂	2016
参	処方提案につなげる薬物療法 ハンドブック	寺町 ひとみ 編	南江堂	2015
参	治療薬マニュアル 2017	北原 光夫 編集	医学書院	2016

参	上 薬剤師業務の基本[知識・態度]薬局管理から服薬指導,リスクマネジメント,在宅医療,後発医薬品,病棟業務まで(新ビジュアル薬剤師実務シリーズ)	上村 直樹 監修	羊土社	2013
---	--	----------	-----	------

・ 成績評価方法

実習施設での評価(50%)、レポート(実習日誌・週報)(15%)・実務実習成果発表会の評価(10%)、出欠、実務実習試験(25%)などから総合的に評価を行う。

・ 特記事項・その他

予習としては、翌日実習する SBO をよく読んでおくこと。
復習としては、行った実習内容を簡単に日報等にまとめること。

実習日程

I 期 平成 29 年 5 月 8 日 (月) ~ 7 月 23 日 (日)

II 期 平成 29 年 9 月 4 日 (月) ~ 11 月 19 日 (日)

III 期 平成 30 年 1 月 9 日 (火) ~ 3 月 26 日 (月)

進捗ネットワークツールを用い、週報に対してコメントを入力することを通じて、学生にフィードバックを行う。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	各実習施設備え付けの薬剤業務関連機器		